

## 第 2 学 年 体 育 科 学 習 指 導 案

2 年 2 組 指 導 者 田 中 博

### 単 元 転がって！支えて！逆さになって！ニンニンの里！

#### 1 本単元で子供が働かせる各教科等の見方・考え方

「回転」「支持」「逆さ」「締め」などの自己の体の動かし方や感覚に着目すること

#### 2 本単元について

本学級の子供たちは、多様な動きをつくる運動遊びの学習では、夢中になって体を動かしたり、遊び方を工夫したりしながら、様々な体の動きを身に付けてきた。このような子供たちが、自己の体の動かし方や感覚に着目しながら、マットを使った運動遊びの学習に取り組む。このことは、今後、様々な運動に取り組む場面においても、自己の動きの広がりや高まりを求めて、思考しながら学習することにつながると考える。

本単元は、マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がったり、手や背中で体を支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどのマットを使った運動遊びを行う。子供たちは、忍者の世界をテーマとした「ニンニンの里」で難易度を選択しながら夢中になって遊び、自然と様々な体の動きを身に付けるとともに、「もっと上手になりたい」という思いをもつであろう。その上で、自己の体の動かし方や感覚に着目することができるように支援する。そうすることで、自己の動きの広がりや高まりを感じ、体を動かすことの楽しさにより触れることができるようになると思う。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 2つの動きについて、「どちらがよい動きか」という視点で比較するよう促す。そうすることで、体の動かし方や感覚に着目することができるようにする。
- 動きの広がりや高まりを感じた子供に、体の「どこ」を「どのように」動かしたかについて問い、グループや全体で共有する活動を設定する。そうすることで、体の動かし方や感覚に着目することのよさに気付くことができるようにする。
- 様々な運動遊びを行う際に、体の「どこ」を「どのように」動かせばよいのか考えるよう促す。そうすることで、どのような運動遊びにおいても、自己の体の動かし方や感覚に着目して体を動かすことができるようにする。

#### 3 本単元の目標

- 自己の体の動かし方や感覚に着目して、いろいろな方向に転がったり、手や背中で体を支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりする動きを身に付けることができるようにする。
- マットを使った運動遊びの楽しさを味わいながら、自己の動きの広がりや高まりを求めて、運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。

#### 4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○いろいろな方向に転がったり、手や背中で体を支えて逆立ちしたり、体を反らせたりする動きを身に付けている。	○自己の体の動かし方や感覚に着目して、気付いたことを友達に伝えている。	○運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けていたりしている。

#### 5 指導計画（全 5 時間）

第 1 次 いろいろなマットを使った運動遊びを行う（2 時間）

第 2 次 自己の体の動かし方や感覚に着目してマットを使った運動遊びを行う

（3 時間）【本時 2 / 3】

**6 本時案 【令和4年11月25日 11:10~11:55 体育館】**

(1) ねらい 自己の体の動かし方や感覚に着目して、マットを使った運動遊びに取り組むことをとおして、転がったり、支持したり、逆さになったりするなどの動きを身に付けることができるようにする。

(2) 学習過程 ※下線は支援に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 複数の運動遊びにおける体の動かし方や感覚について話し合う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体の動かし方や感覚に着目すること</li> </ul> <p>2 マットを使った運動遊びを行う。(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「回転」「支持」「逆さ」「締め」などの動き</li> <li>自己の体の動かし方や感覚に着目すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の「どこ」を「どのように」動かすか考えると、手押し車の術が上手にできたよ。</li> <li>他の術でも体の「どこ」を「どのように」動かすとよいか考えて挑戦してみよう。</li> </ul> <p><b>体の「どこ」を「どのように」動かすとよいか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首倒立の術では、体の「どこ」を「どのように」動かすのだろう。</li> <li>足を天井の方にびんと高く上げてみたらどうか。</li> </ul> <p>A <u>手押し車の術の時と同じように、お腹にぐっと力を入れたら、ふらふらしないと思うよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足やお腹のことを考えて挑戦してみよう。</li> <li>足に気を付けると、前より高く上がったから、中級に合格できたよ。</li> </ul> <p>A <u>お腹に力を入れても、上級はなかなか合格できないな。どうしたらよいのだろう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Bさんが上級を合格しているよ。動きを見てみると、肩だけが畳についているよ。</li> </ul> <p>B <u>肩だけを畳につけるには、背中をシャキーンと伸ばすことがこつだよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>背中って大事なのだね。もう一度挑戦してみよう。</li> </ul> <p>A <u>背中をシャキーンと伸ばすと、前よりもっと足が高く上がって、上級に合格できたよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しく「背中」の手裏剣を加えよう。</li> </ul>	<p>○前時とは異なる運動遊びを提示し、体の「どこ」を「どのように」動かすとよいか考えるよう促す。</p> <p>そうすることで、自己の体の動かし方や感覚に着目しながら、体の動かし方について見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○友達の動きを観察している子供の姿を取り上げ、観察して気付いたことや観察することのよさについて問う。そうすることで、体の「どこ」を「どのように」動かしたらよいか友達の動きから捉えることができるようにする。</p>
<p>3 本時の学習を振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体の動かし方や感覚に着目することのよさ</li> </ul>	<div data-bbox="478 1433 1005 1579" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>上手になった動きはありますか。体の「どこ」を「どのように」動かしましたか。</p> </div> <p>A <u>首倒立が上手にできるようになったよ。足はびん、背中をシャキーンとしたことで、足が高く上がるようになったよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体の「どこ」を「どのように」動かすとよいか考えると、いろいろな術が上手にできたよ。</li> <li>上手いいかないときは、他の隊員の動きの中で、体の「どこ」と「どのように」に気を付けて見るとよいことも分かったよ。</li> <li>次の時間は、「どこ」を「どのように」動かすかを意識すると、後ろ転がりの術もうまくできて、もっと印を集められそうだな。</li> </ul>	<p>○「上手になった動き」と「体の『どこ』を『どのように』動かしたか」について振り返る活動を設定する。</p> <p>そうすることで、体の動かし方や感覚に着目することのよさに気づき、他の運動遊びにおいても、意識して取り組むことができるようにする。</p>

